

令和3年度 学校推薦型選抜 小論文（第一部 商経学科）解答例

問1（50点）

【採点のポイント】

- ・ 確証バイアスについて説明しているか。
- ・ 確証バイアスの問題点を説明しているか。

【解答例】

意思決定において、確証バイアスは厄介な問題である。確証バイアスとは、ある状況について直感的に信念を抱いた後、その信念を裏づける情報を探すという習慣のことである。我々は情報を収集するとき、もともとある考え方、信念、行動を裏づける情報ばかりを選びやすいので、確証バイアスに陥りやすいと考えられる。

確証バイアスの問題は、一見すると判断がとても科学的に見えるところである。何よりもデータを集めているので、思いこみに陥りやすい。仕事でも人生でも、真実を求めているふりをして、本当は確証を求めていることも多い。すなわち、何かが真実であってほしいと思うと、それを裏づける状況にスポットライトを当て、そのスポットライトが当たった状況から結論を導き出し、合理的な判断を下したつもりになるところが問題であると考えられる。（350文字）

問2（50点）

【採点のポイント】

- ・ 確証バイアスを回避する方法について考えることができているか。
- ・ 論理的に考えを記述できているか。

【解答例】

確証バイアスが生じる理由は、自分の信念を裏づける確証を求めるあまり、都合の良い情報にしかスポットライトを当てないという点にある。したがって、確証バイアスを解決するためには、自分の信念を否定するような情報も積極的に探すということが考えられる。つまり、自分の信念を支持するデータだけを集めるのではなく、信念を否定するようなデータも同じくらい集めるべきである。そして、正反対のデータや多様な解釈ができるデータを並べ、自分の意図によって左右されないような客観的な基準から、それらのデータを評価することが必要である。

また、様々な意見を持つ人との議論も不可欠であると考えられる。特に、自分の信念を否定したり正反対の意見をもったりする人は重要である。自分をほめたり応援したりする意見にばかり耳を傾けたら、歪んだデータ群から導き出された結論になりやすい。したがって、異なる意見を持つ人々と議論を交わすことで、自分の過ちに気付いたり、従来の思考とは異なる第三の方法を見つけたりすることが出来ると考えられる。あるいは、自分の信念が合っていたとしても、異なる意見を持つ人を説得する過程で、より正確なデータを集め

られたり、主張をより強くしたりするような効果が得られると思う。(523字)